

# 平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	防災行政デジタル無線（MCA無線）整備事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	05	02	59
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	山崎 英彦				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	避難所等の施設、防災機関、自主防災組織・自治会等	意図	電話が不通となるような大規模災害時において、対象施設との音声通信手段を確保する。
事業内容	市役所防災行政無線室に指令局を設置するとともに、避難所等の施設や防災関係機関等に携帯局を配置する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成24年度に対象施設55箇所に携帯局を配置した。配置済みの施設等との間で定期的に通信訓練を実施している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	災害予防について安全だと思える人の割合	40.70	43	49.50	%
②	防災行政デジタル無線（MCA無線）配備箇所		55	100	%	→→	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						平成24、25年度にかけて対象施設に携帯局を配置した。
事務事業のコスト	平成23年度	平成24年度	平成25年度	配置済みの施設等との間で定期的に通信訓練を実施するとともに、市及び各地域の防災訓練等において通信訓練を実施し、関係者全員が使用方法に習熟し、災害時に有効活用できるようにする。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,788,000	24,239,600	23,389,950				
事業費(b)(円)		19,215,000	19,896,450				
うち一般財源		12,810,000	7,796,450				
職員給与費(c)(円)	3,788,000	5,024,600	3,493,500				
人役・職員(人)	0.50	0.70	0.50				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	対象施設45か所にデジタル無線を配置する。	③取り組みの課題	実際に使えるように、定期的に訓練を実施し習熟を図る。
②今年度(H25)に実施した取り組み	計画どおり、対象施設45か所に配置した。	④今後の改善計画	今後配備計画はないが、市及び各地域の防災訓練等において関係者全員に使用できるようにする。